

インドネシア国炭素固定森林 経営現地実証調査について

国際協力機構 地球環境部
森林自然環境保全第一チーム
山田 良春

プロジェクトの概要

協力期間:2001年1月から2006年6月

インドネシア側関係機関:林業省林業研究開発庁

日本側協力機関:農林水産省 林野庁

協力内容(概要)

(1)プロジェクト目標

植林への国内外から投資を促進することが期待される炭素固定森林経営のための適切な新技術及び手法が開発される。

(2)アウトプット

- 1:人工林の炭素固定推定手法の開発
- 2:炭素固定ポテンシャル維持・強化のための木炭施用植林の新技術の開発される
- 3:より効果的な木炭生産技術の開発
- 4:炭素固定植林の費用と収入の推定
- 5:潜在的なCDM事業の参加者に必要なデータと情報の利用可能な状態

CDM事業関係者を対象としたセミナーを開催し、本プロジェクトの詳細な成果を公表する予定